

おおだて 市議会だより

102号

平成23年11月1日

平成23年 **9月定例会**

(会期：8月30日～9月15日)

- 主な議案等の審査結果（9月定例会、第2回臨時会）・・・ P.2
- 一般質問 P.4
- 決算特別委員会の設置等 P.8
- 委員会から P.9
- 私もひとこと P.10



大館市制施行60周年
ハチ公生誕88周年

本場大館きりたんぽまつり

平成23年10月8日(土)・9日(日)

主な議案等の審査結果

9月定例会（会期：8月30日～9月15日）

内訳：条例案6件、単行案3件、予算案13件、人事案2件、専決処分の報告1件、報告1件

認定23件、設置2件、選挙1件、意見書案1件、請願2件、陳情8件、継続審査分陳情2件

計65件

主 案 件 ・ 内 容		結 果																																
○議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正、市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正、教育長の給与等に関する条例の一部改正、大館市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正 （平成23年10月1日より、給料または報酬月額の引き下げ） <table><tr><td>市長</td><td>864,000円</td><td>⇒</td><td>854,000円</td><td>副市長</td><td>686,000円</td><td>⇒</td><td>678,000円</td></tr><tr><td>議長</td><td>418,000円</td><td>⇒</td><td>413,000円</td><td>副議長</td><td>380,000円</td><td>⇒</td><td>376,000円</td></tr><tr><td>議員</td><td>362,000円</td><td>⇒</td><td>358,000円</td><td>教育長</td><td>579,000円</td><td>⇒</td><td>573,000円</td></tr><tr><td>病院事業管理者</td><td>679,000円</td><td>⇒</td><td>672,000円</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		市長	864,000円	⇒	854,000円	副市長	686,000円	⇒	678,000円	議長	418,000円	⇒	413,000円	副議長	380,000円	⇒	376,000円	議員	362,000円	⇒	358,000円	教育長	579,000円	⇒	573,000円	病院事業管理者	679,000円	⇒	672,000円					原案可決
市長	864,000円	⇒	854,000円	副市長	686,000円	⇒	678,000円																											
議長	418,000円	⇒	413,000円	副議長	380,000円	⇒	376,000円																											
議員	362,000円	⇒	358,000円	教育長	579,000円	⇒	573,000円																											
病院事業管理者	679,000円	⇒	672,000円																															
○一般会計補正予算（第7号）案 <table><tr><td>・コミュニティ施設設置費補助金・交付金（天下町）</td><td>1,650万円</td></tr><tr><td>・光ブロードバンド整備事業費（越山・岩野目地区）</td><td>1億1,500万円</td></tr><tr><td>・地域支え合い体制づくり事業費（要援護者支援マップ作成）</td><td>497万5,000円</td></tr><tr><td>・こどものえき設置事業費</td><td>452万3,000円</td></tr><tr><td>・がん検診推進事業費（大腸がん検診の追加）</td><td>402万6,000円</td></tr><tr><td>・農業夢プラン応援事業費補助金</td><td>362万2,000円</td></tr><tr><td>・秋田デスティネーションキャンペーン開催事業費</td><td>217万円</td></tr><tr><td>・道路補修・新設改良費（南神明町小館花線ほか2路線）</td><td>1,065万4,000円</td></tr><tr><td>・除雪費・除雪関連経費</td><td>3億2,053万1,000円</td></tr><tr><td>・消防本部庁舎屋上防水改修工事費</td><td>1,155万円</td></tr><tr><td>・中央公民館エレベータ設置事業の実施設計費等</td><td>158万9,000円</td></tr><tr><td>・大葛地区スクールバス購入費</td><td>617万円</td></tr><tr><td></td><td>など</td></tr></table>		・コミュニティ施設設置費補助金・交付金（天下町）	1,650万円	・光ブロードバンド整備事業費（越山・岩野目地区）	1億1,500万円	・地域支え合い体制づくり事業費（要援護者支援マップ作成）	497万5,000円	・こどものえき設置事業費	452万3,000円	・がん検診推進事業費（大腸がん検診の追加）	402万6,000円	・農業夢プラン応援事業費補助金	362万2,000円	・秋田デスティネーションキャンペーン開催事業費	217万円	・道路補修・新設改良費（南神明町小館花線ほか2路線）	1,065万4,000円	・除雪費・除雪関連経費	3億2,053万1,000円	・消防本部庁舎屋上防水改修工事費	1,155万円	・中央公民館エレベータ設置事業の実施設計費等	158万9,000円	・大葛地区スクールバス購入費	617万円		など							
・コミュニティ施設設置費補助金・交付金（天下町）	1,650万円																																	
・光ブロードバンド整備事業費（越山・岩野目地区）	1億1,500万円																																	
・地域支え合い体制づくり事業費（要援護者支援マップ作成）	497万5,000円																																	
・こどものえき設置事業費	452万3,000円																																	
・がん検診推進事業費（大腸がん検診の追加）	402万6,000円																																	
・農業夢プラン応援事業費補助金	362万2,000円																																	
・秋田デスティネーションキャンペーン開催事業費	217万円																																	
・道路補修・新設改良費（南神明町小館花線ほか2路線）	1,065万4,000円																																	
・除雪費・除雪関連経費	3億2,053万1,000円																																	
・消防本部庁舎屋上防水改修工事費	1,155万円																																	
・中央公民館エレベータ設置事業の実施設計費等	158万9,000円																																	
・大葛地区スクールバス購入費	617万円																																	
	など																																	
○一般会計補正予算（第8号）案 ・8月17～18日にかけて発生した豪雨による被害の災害復旧費 など																																		
○人権擁護委員の候補者の推薦	阿 部 正 光 氏（新 沢） 一 関 清 子 氏（小坪川原）	異議なし																																
○監査委員の選任	蒔 苗 誠 氏（根 下 戸）	同 意																																

第2回臨時会（会期：7月28日）

内訳：報告1件、単行案1件、予算案1件 計3件

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
○財産の取得（たしろ温泉ユップラの井戸水揚水ポンプ、タイヤボイラーなど） 市がたしろ温泉ユップラを指定管理による管理を行うため、株式会社田代ふるさと振興公社の 自己資産である井戸水揚水ポンプ、タイヤボイラーの機械設備などを市が取得	原案可決
○一般会計補正予算（第6号）案 ・大町借上住宅に係る借上料などの住宅管理費 2,585万1,000円 など	

請願・陳情

9月定例会に提出されたもの

請願	○米の先物取引試験上場の中止を求める意見書の提出要請について ○原発事故関連放射性物質の受け入れ反対について	継続審査
陳情	○大館市立下川沿公民館の改築について ○市道川口中央線・国道7号立花地区出入り口改良工事について ○別所地区の上水道整備事業について ○学校給食に地場産野菜活用の一層の向上について	採 択
	○地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書の提出要請について ○義務教育費国庫負担堅持及び国庫負担2分の1復元を求める意見書の提出要請について ○30人以下学級の実現を求める意見書の提出要請について ○拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度法制化を求める意見書の提出要請について	継続審査

継続審査となっていたもの

継続審査となっていた陳情2件は、いずれも採択されました。

陳情	○地方財政の充実・強化を求める意見書の提出要請について ○光ファイバー整備の早期実現について	採 択
----	---	-----

－ 意見書の提出 －

地方財政の充実・強化を求める意見書
《提出先》内閣総理大臣、総務・財務・経済産業大臣

さいとう のりゆき
齊藤 則幸 議員(公明党)



事業継続計画

(BCP)の策定

〔問〕 大地震だけでなく新型インフルエンザで多くの職員が欠勤した場合の緊急時に、重要な業務をどう継続し、復旧を進めるのか。

〔市長〕 有事に備える「業務継続計画」の策定が地域防災計画を補完する意味でも極めて重要と考えている。本市における過去のさまざまな災害の教訓を生かしながら、BCPの策定を進めてまいりたい。

被災者支援システムの導入

〔問〕 災害発生時の危機管理に真に役立つ被災者支援システムを導入すべき。

〔市長〕 り災証明書等をスムーズに発行できるなど、大災害発生時に非常に有効である。本年7月の県内消防防災担当課長会議においても、県総合防災課が導入を勧めている。

「釜石の奇跡」に学ぶべき

〔問〕 防災教育として、釜石の奇跡に学ぶべき。

〔教育長〕 これまでの防災教育といえば、想定される事態への対応マニュアルの作成とそれに沿った形式的な避難訓練であった。釜石の防災教育は、そのような「想定を超えた事態にどう対応するか」を主眼とする教育であった。

「子どものえき」の取り組み

〔問〕 子育てにやさしい町・大館を目指し、「子どものえき」に取り組んでほしい。

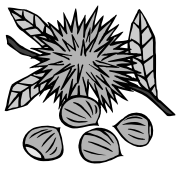
〔市長〕 子育て中の家族が多く利用すると見込まれる民間施設に対しても、この事業の積極的な活用を呼びかける。

市民相談から

(ひまわり園)

〔問〕 子供用のトイレを設置してほしい。

〔市長〕 できるだけ早期に設置してまいりたい。



たなか こうたろう
田中耕太郎 議員(いぶき)



地域消防団の現状の問題点

〔問〕 各施設の消防ポンプの格納施設及びホース乾燥塔の老朽化に伴う整備は。

〔市長〕 鉄製乾燥塔を毎年度2基ずつ、コンクリート柱に更新している。

〔問〕 消防ポンプの搬送方法について。

〔市長〕 個人所有の軽トラックを使用しているが、22年度から計画的に車両配備を進めており、今後も団員が活動しやすい体制を整備していく。

小・中学校のスポーツ

少年団移行について

〔問〕 移行に伴うメリットとデメリットは。

〔教育長〕 メリットは子供たちが取り組みたい競技に取り組める、さまざまな競技に触れバランスのとれた体をはぐくめる、専門的な知識・技能の指導を受けられる。デメリットは活動熱心

が心配される、小学校との連携が希薄になる。

〔問〕 これからの学校体育連盟のあり方について。

〔教育長〕 来々4月以降、可能な競技からスポ少へ移行し、競技団体等が主体となつての開催が困難な場合は連盟が行う可能性も残されている。

他市町村からの

焼却灰受け入れについて

〔問〕 市内における放射線量の定期的観測が必要では。

〔市長〕 処理業者の敷地等も測定し現在まで県内の通常レベルを超えていない。測定機器を追加購入し測定箇所を増やし市民への情報提供に努める。

〔問〕 排出元の実態調査を。

〔市長〕 三重のチェック体制を行い、さらに不安払拭のため、排出前の焼却灰の管理・監視体制を実態調査していく。

〔問〕 学識経験者による諮問機関の設置で風評被害対策を。

〔市長〕 弘前大学等の研究機関や環境保全に関する専門家の意見を伺う体制を充実していく。

〔問〕 これをきっかけに流山市などと同様な人的交流を。

〔市長〕 流山市の井崎市長が謝意を表すため当市を訪れており、これを契機に流山市との市民交流へと進展すれば幸いである。

あかし ひろやす
明石 宏康 議員(いぶき)



当市ができる

中・長期的な復興支援について

〔問〕 被災地に何度か赴き、今なお苦しんでいる多くの被災者の方たちを見てきた。当事者の立場になった、中・長期的な支援を続けていくことが大事だ。市長以下、市民みなでいつても温かく迎え入れられる体制を維持しておくこともまた、中・長期的な支援の一つだ。現行の支援制度が今後も引き続き行われるよう、市町村サイドから県や国に助成継続を働きかけていくことも私たちができる支援だ。

〔市長〕 震災から半年が経過し、被災者のニーズも変化している。就業支援を含めた定住のための支援体制整備についても引き続き検討し、被災地の方々が今何を求めているかを常に把握できるよう情報収集に努める。

放射性物質を含む
焼却灰の広域処理への
理解についてささしま あいこ
笹島 愛子 議員 日本共産

防災計画の進捗状況は

〈問〉「搬入大歓迎です、いつでもどうぞ」などという人はいない。だが、すべての当該地に新たに処分場を建設して処理しろというのは、時間と費用を考えれば不可能である。安全性が担保されるなら、今回の放射性汚染を広域処理という共助の精神で乗り越えるべきだし、理解は必ず得られると確信している。しかし、搬入再開を望んでいる人も多い。現時点では多くの住民の合意はまだ醸成されていない。説明会の開催は説明責任を果たさなければならぬ行政の責務だ。また、搬入再開の是非を論じる場に放射能の専門家は一人もいない。プロによる検証が必要だ。

〈市長〉 厳重な安全対策を行って、市民の健康や周辺の環境、農産物の安全性を確保する。説明会の開催については検討している。専門家については緊急被曝医療を行う弘前大学医学部と連携し、すぐに相談できる体制にある。必要に応じて大学等の研究機関や環境保全に関する専門家の意見を伺うことができる体制をさらに充実させる。

〈問〉 6月定例会でも防災計画の見直しを求めたが、緊急に整備する必要があるのは、生きるために不可欠な、食べ物、寝る場所や寝具、排せつ等だ。人間の尊厳を守るためにも急ぐべきだ。

〈市長〉 今回の大震災を受け、市内12の公民館に、毛布・防災行政無線・発電機・対流式石油ストーブ・非常食をセットで常備するよう準備をすすめているところである。非常用のトイレについては、凝固剤付きの簡易型トイレの購入も検討する。

焼却灰の受け入れについて

〈問〉 国の基準値が動いている中、焼却灰の受け入れは行うべきではなく、まずは市民への説明を急ぐこと。

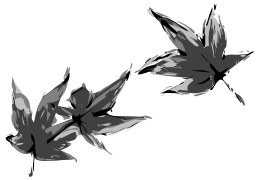
〈市長〉 放射性セシウムを含む焼却灰の受け入れの是非については、市民の安全・安心の確

保を最優先とし、被災地復興支援の一環という観点からも判断すべきものと考えている。また、チラシの配布や説明会の開催も検討している。

豪雨被害の復旧を急ぐこと
基本的な改良が必要な箇所に
ついても降雪前に対応を

〈問〉 大災害等により被害が拡大し大きな工事費が発生しないよう、今年度の災害復旧は今年度内に。例えば、矢立小・中学校グラウンド下にある、御前水脇の傾斜地の崩壊、十二所地区曲田沢川の崩壊など、基本的な対応が必要だ。

〈市長〉 8月17日の大雨により、市道では路肩決壊、河川では護岸決壊、法面の崩壊や土砂堆積。農林関係では、農地や農業施設の被害、林道の路肩決壊など現在237カ所報告されている。災害復旧費に係る追加補正予算案を提出する予定であり、2次災害や被害の拡大が懸念される場合は、早急に仮復旧等の手当てをしながら対応する。

ささきこうじ
佐々木公司 議員 (いぶき)放射性物質を含む焼却灰の
受け入れについて

〈問〉 受け入れ決定に政治生命をかける決意は。今後の風評被害によっては計り知れない経済的打撃が考えられないか。農産物の安全宣言をしたらどうか。

〈市長〉 被災地等の環境リスク軽減の社会貢献の一環であり、市民生活へ影響が生じないよう最大限配慮する。客観的で具体的数値に基づき安全性をアピールすることが重要かつ効果的対策である。市内6地点で空間放射線量を測定し、速やかにデータを公表。測定機器の追加により観測地点を増やすこととし、安全性の確認と市民の不安解消に努める。

防災対策について

〈問〉 9月1日は防災の日。大震災からおおよそ半年、防災訓練・教育にどう取り組むのか。

〈市長〉 市の総合防災訓練は

11月6日に田代地域で開催する。広域停電や物流の停滞、断水など実体験を踏まえた訓練を実施したい。

観光振興強化について

〈問〉 元気のある大館のための観光・行政は。秋田DCに向けた取り組みは。JR大館駅と連携した観光拠点化と、観光プラザの方向性は。

〈市長〉 10月より秋田ミニDCが始まる。24年はプレ秋田DC、25年が秋田DCの本番。私が見頭に立ち、大館をPRする。観光案内、物産販売、体験の3つが一体となった観光施設の検討が必要と考える。

市民のために役立つ
「市役所」に

〈問〉 市民の声に迅速に対応し、たらい回しをしない対応を。

〈市長〉 相談対応スキームを作成し、全職員に周知徹底した。いま一度市民の立場に立った業務遂行とサービス向上に努める。

平田オリザ氏の
講演について

〈問〉 講演で何を学び、提言についてどう考えるのか。

〈市長〉 地方には新たな価値を認め合えるような新しい広場が必要であり、地域のアイディア、文化力が重要と考えさせられた。

おだなきまさゆき
小棚木政之議員(平成会)



計画中の市営3団地の

目的は何か

〈問〉民間賃貸住宅の空き物件が多い中で、高コストの市営3住宅を借金してつくる目的は何か。公住法の目的は低所得者の住宅難の解消であり、民間賃貸住宅の家賃補助で対応可能では。市が推奨賃貸住宅を認定すれば、建てかえを促進できるのでは。中心市街地活性化のためならばそのビジョンを。

〔市長〕3団地は築50年以上経過し建てかえが必要。高齢化の進展などを考慮し、中心市街地にある市営住宅への入居を推進している。家賃補助や提言の主旨については活用を検討する。中心市街地活性化の展望は、市の南側は修復型のまちづくりを旨とし、大町住宅及び3住宅、旧正札竹村跡の利活用を進め、にぎわい創出の場としたい。

廃屋解体促進の施策について

〈問〉廃屋が増え、社会的環境の悪化が懸念される。不動産流動性を高めることで中心市街地活性化を進めることができるのでは。解体促進の施策を考えられないか。新しい建設が進み街並みも整備されていくのでは。

〔市長〕放置家屋等は21年度の調査で538件。うち、危険度の高いものが328件あった。個人財産への補助、所有権等の問題で難しいが、公共の福祉の面から対応を検討したい。

市の情報発信・収集について

〈問〉再評価・改善を行っているか。災害時など市民に情報が届いていない場合があるほか、インターネット技術の変化など受け手の状況が多様化している。市へ利益とチャンスと呼び込むためにも情報のあり方は重要。

〔市長〕年度内にITC利活用の推進協議会を立ち上げ、ポータルサイト構築の条件整備を検討。ツイッターは導入する。

スポーツ施設での

事故について

〈問〉情報を把握し、安全対策を行っているか。

〔教育長〕今後積極的に事故防止に努め、同時に施設設備の安全点検に万全を期していく。

さとう よしただ
佐藤 芳忠議員(無所属)



子孫の安全や農業に重大な影響を与えかねない放射性セシウムをどうして受け入れるのか
放射能を持つ物質の受け入れについては市民に是非を問うべき

〈問〉子供や孫たちの環境や安全は、そして安心して暮らせる未来は、今の私たちが守ってやることができます。今、私たちが判断しなくてはならないのは、大館市が受け入れようとしているセシウム、放射線を出す能力・放射能を持つ物質を受け入れることが「市民のためになるのか」「農業のためになるのか」「大館市のためになるのか」ということです。子孫の安全を脅かし、農作物へのさらなる風評被害をも引き起こしかねない放射性物質は、安全な物質ではないのです。放射性物質が0を0のままにしておくか、0を一、十、百、千、万と延々と受け入れ続けていくか、今、大館市は岐路に立っています。セシウム

の飛散がなかった本市が、どうして被災地でない市町村のセシウムを受け入れるのでしょうか。千葉県等の市町村がセシウムを含んだ焼却灰を一刻も早く市外に運び出したいとしている時、本市はこれらの市の焼却灰を受け入れようとしているのです。市民の不安を取り除き農作物への風評被害を防ぐためにも、放射性物質は受け入れるべきではありません。市や市議会は、よその市を考える前に、自分たちの市や市民のことを考えるべきではないでしょうか。私は被災地や避難者に、安心して生活できる環境と安全な農作物を提供することが、被災地復興の側面支援ではないかと思っています。そして市の将来を左右するような判断は、市当局や市議会だけで下すべきではないとも思っています。受け入れの是非は市民に判断を仰ぐべきだと申し上げます。

〔市長〕市民の安全安心の確保を最優先として考え、大震災の被災地のみならず、周辺自治体の市民生活維持のため支援します。市民のみなさまに事業について深くご理解いただくため、チラシの每户配布や説明会を開催してまいります。

保育所の途中入所について

〈問〉定員に満たないのにへき地保育所に途中入所できないのはどうしてか。

〔市長〕へき地保育所の入所定員は施設規模で算定し国や県に届けているため、受け入れ可能な児童数より多い状況となっている。現状に見合ったものに改め、募集の際は定員に満たないのに入所できないということもなく、途中入所でも希望に応えられるよう努めたい。

施設のメンテナンスは

計画的に

〈問〉公共施設の屋根や観光施設のメンテナンスを計画的に実施したらどうか。

〔市長〕施設維持管理費の削減のために定期的に点検したい。出川のケヤキ周辺の美化やハチ公生家のトイレの外壁補修は、来年度に計画している。

とがし たかし
富樫 孝議員(新生クラブ)



公民館の再編構想

ほかについて

〔問〕 現在の地区に公民館が再編によって分館と同じように貸し館の形態になり、公民館の機能を失ってしまわないか。

〔教育長〕 現段階では内部の検討が必要な状況であり、地域の方々から意見を聞いて見直しを検討したい。

〔問〕 冷暖房料の徴収は地区のために活動している団体には免除してもよいのでは。

〔教育長〕 主催事業を除くすべての団体を対象に負担してもらっている。地域の方々の利用に線引きして免除するのは難しい。



佐藤 健一 議員 (いぶき)



城南保育園分園の 駐車場・園庭と 城南保育園について

〔問〕

保護者が送迎のために使っている白鳥広場から分園までの通路は大変危険である。また、園庭内に設けられた駐車場のため、園庭が水浸しになり使えない状態である。その解消方法について伺いたい。また、城南保育園も老朽化しているうえ狭いようなので、今後建てかえ等の考えがないか、あわせて伺いたい。

〔市長〕

園児送迎用の駐車場は、これまで園庭の一部を充てていたが、狭くて未舗装なことから、ほとんどの保護者が白鳥広場を利用している状況である。現在、園庭内駐車スペースの舗装工事を発注しており、10月28日に完成予定である。また、これとあわせて、白鳥広場を利用した場合でも安全に通園できるよう、適宜状況に応じた対策を

講じていく。また、城南保育園の建てかえは、施設の耐用年数や他施設を含めた優先度を考慮しながら、今後検討してまいりたい。

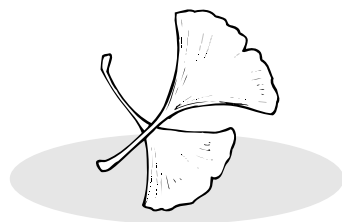
米の生産目標の 市町村間の格差是正の 今後の見通しについて

〔問〕

来年度の生産目標が提示される前に、県に格差是正の早期実現の要望をするべきではないか。

〔市長〕

県から市町村への配分率は、平成22年産米で最大11・2ポイントの差が、これまでの強い要望により、本年度から3年間で2分の1にするという方針が示され、平成23年産米は最大格差が9・4ポイントに縮小された。しかし、依然として格差があるので、次の見直しの平成26年度を見据えて、早期の格差完全是正に向けて粘り強く要望していく。



花岡 有一 議員 (平成会)



健康長寿のまちづくり について

〔問〕

各種検診の受診率を上げて市民の健康を守る方策を。

〔市長〕

本市は、がん・心疾患・脳血管疾患による死亡率が国・県と比べて高く、これらの予防が重要課題であるが、各種がん検診などの受診率は50%に満たない。がんなどの早期発見・早期治療に結びつくよう、無料クーポン券を送付するなどして受診率の向上に努めたい。

大館をアートとミュージックの まちにしよう

〔問〕

ゼロダテや大館市出身のミュージシャンなどの協力を得て、大館を「ゼロダテアートのまち」「音楽のまち」にするため、できる限りの支援を。

〔市長〕

街中にシンボリックなモニュメントを配置したり、至る所に作品を展示するなど、まちを美術館のように活用するこ

とについて、市民やアーティストの理解や協力が得られれば実現してみたい。今後もゼロダテには積極的に支援していきたい。

公共施設の バリアフリー化について

〔問〕

バリアフリー化とともにユニバーサルデザイン化を推進するべき。

〔市長〕

本年度は十二所公民館で、来年度は中央公民館でエレベーター設置とあわせて行う計画であり、ユニバーサルデザイン化にも心がけていく。

LED照明について

〔問〕

どこよりも早く大館郷土博物館へ導入すべき。

〔市長〕

本年度中に曲げわっぱ展示室の蛍光管をLED照明に交換することを検討中である。

観光の振興について

〔問〕

2つの旧金山（大葛・長慶金山）を観光振興に活用してはどうか。

〔市長〕

砂金取りの体験型観光や平泉文化とのかかわりなど、新たな観光資源として検討していく。



●平成22年度決算特別委員会の設置

平成22年度の決算を審議するため、決算特別委員会を9月15日（9月定例会最終日）に設置しました。

10月下旬から11月上旬に委員会を開催して、各会計の審査等を行います。その結果を12月定例会で報告し、認定・不認定を決めます。各委員は以下のとおりです。(◎委員長 ○副委員長)

一般・特別会計決算特別委員会

◎吉原 正 (いぶき21)	○富樫 孝 (新生クラブ)	佐藤 照雄 (平成会)
花岡 有一 (平成会)	畠沢 一郎 (平成会)	伊藤 毅 (平成会)
藤原 明 (平成会)	仲沢 誠也 (平成会)	佐々木 公 (いぶき21)
佐藤 健一 (いぶき21)	菅 大輔 (新生クラブ)	笹島 愛子 (日本共産党)
高橋 松治 (社会民主党)		
		以上13名

企業会計決算特別委員会

◎斉藤 則幸 (公明党)	○明石 宏康 (いぶき21)	小棚木 政之 (平成会)
武田 晋 (平成会)	中村 弘美 (平成会)	千葉 倉男 (平成会)
虹川 久崇 (平成会)	石田 雅男 (平成会)	佐藤 芳忠 (無所属)
田中 耕太郎 (いぶき21)	田村 齊 (新生クラブ)	相馬 エミ子 (社会民主党)
		以上12名

行政視察の
受け入れ状況
(23年度上半期)

○7月29日

千葉県木更津市 3名

- ・ペレットストーブについて
- ・家電リサイクル事業について
- ・汚染土壌処理事業について

○8月9日

埼玉県上尾市 5名

- ・こでん回収事業について
- ・株式会社エコリサイクル施設
見学

○8月19日

愛知県岡崎市 7名

- ・溶融スラグの製品化について

委員会から

会期中の9月7日、8日、12日、13日の4日間
にわたって各常任委員会で付託された議案等について
審査を行いました。
各委員会からの主な報告は次のとおりです。

総務財政常任委員会

◇自主防災組織について

行政視察で訪問した滋賀県彦根市・草津市では、各自自主防災組織が、自分たちの地域に合った災害想定で自主的に訓練をしていた。本市でも町内単位で組織はあるものの、訓練等の活動がよく見えない。訓練を重ねること、行政に頼らない自発的な行動ができるのではないかと問いに、市長は、市のハザードマップなどを生かし、図上訓練や避難訓練を実施したい。自主防災組織として実際に動くことが大事であり、今後も最大限努力していきたいとの考えを示した。

◇証明書等の宅配サービスの

実施(試行)について

雪沢・岩瀬・早口地区の一部と大葛地区で、世帯全員が70歳以上など窓口に来ることが困難

な市民の利便性向上のため、証明書等の宅配を平成23年10月1日から1年間試行すると報告があった。

厚生常任委員会

◇放射性セシウムを含む 焼却灰の受け入れについて

9月13日の常任委員会総括質疑において、他市からの焼却灰に放射性セシウムが検出された問題について、委員から「搬出時に排出元の自治体と処理業者がセシウム濃度を測定し、搬入時に大館市の処理業者が測定する三重チェックだけでは不十分。大館市も測定すべき」「空間放射線量だけではなく最終処分場からの放流水も危険では。流域の河川の測定も行うべき」などの市民の安全・安心を優先し、危険から遠ざけるべきとの意見が出された。これに市長は、「市も空間放射線量の測定を行い、濃度測定の際には立ち会い

し、三重チェックの客観性を高めていく」「セシウムは水に直接溶けることはないが水中のほこりなどに付着する性質を持つことから、まずは焼却灰を固化で安定させ埋め立てし、雨が降って流れる排水を何段階も沈殿ろ過し、十分なチェック体制で行う」など、市民生活を守ることが第一で、かつ焼却灰の処理に困っている被災地周辺自治体の支援のためにも本当に安全であることを、データなどの情報を小まめに市民に公表する考えを示した。

◇病院代支払いのクレジット カード化について

病院代の支払いにクレジットカードを導入し、患者の利便性の向上を図り、さらに未収金対策につながるのではとの問いに対し、病院事業管理者は導入に向けて意欲を示した。

教育産業常任委員会

◇一般企業の農業参入は

視察した埼玉県深谷市では、情報処理を営む企業が第1号として農業に参入し、補助金を活用して耕作放棄地を解消し、露地野菜を栽培していた。当市でも耕作放棄地が増加しているが、その解消も含め、企業の参入について市長の考えを聞いた。だしたところ、雇用拡大や農地の保全など、目的が明確であれば決して廃除するものではないとした上で、まずは農業法人や認定農業者等に頑張っていた。くとも必要との考えを示した。

◇防災教育について

被災地では悲惨な体験をされた方がたくさんいる。被災者にこちらに来ていただいて、児童生徒に生の体験談を聞かせる機会をつくるのが防災教育につながるのではとの問いに、教育長は、知識の伝達のみではなく、心や姿勢まで育てていくというのが本当の防災教育。子どもたちが被災地を直接見るというのが一番だが、現地の方のお話を聞くというのかなり効果的な方策。後日、釜石市教育委員会の方に可能かどうか伺いする

建設水道常任委員会

◇大町借上住宅の 入居状況について

東日本大震災の影響により完成ができていた大町借上住宅の入居が9月1日から始まった。直近の入居状況が15戸と低調であることについて、入居開始時期が年度途中となったことが大きな要因であり、転入出が盛んとなる年度がわりの時期には入居率8割超となることに期待したいとの報告があった。

◇8月17日の大雨の 被害状況について

8月17日の大雨による被害状況について、市道では路肩決壊など19カ所、河川では43カ所の護岸決壊や土砂堆積が発生し、法定外公共用財産の道路や水路においても法面の崩壊や土砂堆積等が11カ所にも及んだことから、二次災害や被害拡大が予想される箇所から早急に着手するとの報告があった。



市道釈迦内松木立花線現地調査
(建設水道常任委員会)



つもりであるとの考えを示した。

私もひとこと

⑫

この「コーナー」ではみなさんからの「なまの声」を募集しています。お気軽にご投稿下さい。

陽気な母さんの店友の会 副会長

はたけ
富山
山
市
子
さん
(曲田)



直売所活動に参加して

非農家出身の私が縁あって兼業農家に嫁ぎ、早いもので35年になりました。初めのうちは子育てしながらの手伝いのような感じで、身にしみて畑仕事には力が入っていませんでした。子どもも大きくなり、本格的に農業に取り組んだころ、曲田に農産

物の直売所ができるという話があり、説明会に参加したときに私の中に何か目覚めるものがあつたことを思い出します。

もともと販売の経験があつたので、陽気な母さんの店での仕事も苦にはならなかったです。、何よりも出荷した物の売り上げが自分の通帳に入るといのがうれしかったのです。また、直売所活動の中でも学校給食に食材を供給する「フレッシュ野菜供給会」の会長を務めさせていただき、市内の各直売所と学校の栄養士との話し合いで地産地消に一役買わせていただいております。今では食育推進計画により月1回食育の日が設けられ、市内の保育園と小・中学校全体で地場産の農産物が使われています。地場産品が使われた日は残飯も少ないと聞いております。この子どもたちが大きくなり、都会に出て行っても小さい時に食べた地場産農産物の味を忘れず、大館

の食材を取り寄せてくれることを願っております。

今年3月11日の東日本大震災による福島原発事故の放射能問題。まだまだ先が見えません。そのせいか、市内の福祉施設より米の納入依頼が母さんの店にあつたのですが、それ以前は他県の米が使用されていたようです。一番消費量が多い米、そして私たち農家にとって収穫量の多い米が身近な地元で使われていなかったのです。地産地消の大きな役割を地元から見直してほしいと思います。そして自分たちも栽培している農産物に自信を持ち、新鮮で安心・安全な物を提供したいものです。

今後いろいろなイベントに参加したり農作業体験や郷土料理体験、地場産品を使った新商品開発などさまざまな分野で首都圏へもPRし、秋田県、そして大館市を売り込めるよう努力したいと思っています。今日この頃です。



市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴される方は、市役所東側(裁判所側)3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎ 4317108 (直通)

編集後記

5月からの新議会発足以来、今回で2号目の市議会だよりとなりましたが、市民の皆様におかれましては、前号はいかがでしたでしょうか。

評価の賛否両論とは別に、今回は9月定例会の内容を中心に編集しました。一般質問では、セシウムを含む焼却灰の搬入についても取り上げられました。

議員に求められるものは常に「礼儀正しさ」を第一に、「正義感」と「責任感」と「謙虚さ」だと言われます。パフォーマンスは最小限に、物の無駄・時間の無駄・心の無駄を排し、今後も開かれた議会だよりづくりに努力します。

(田村 齊 記)